

1 背景と目的

- 前回県史から40年以上経過し、学術的に歴史研究が進展している。
- 世代交代や大規模災害の発生等により、貴重な歴史資料の散逸が懸念される。
- 戦時世代が80歳以上となり、聞き取り調査の限界を迎えている。



県政150年にあたる令和3年度から県史編さんを開始

本県のあゆみを後世にしっかりと伝え残すことで、本県の歴史への理解と郷土への愛着、歴史研究を担う人材を育成するとともに、成果を教育での活用や観光振興につなげていく。

2 編さんの基本的な方向性（高知県史編さん基本方針 R3.10策定）

(1) 目的

- 本県の歴史的変遷を解明し、本県の学術・文化の振興に寄与する
- 歴史資料を悉皆的に調査し、後世へ伝え残す
- 歴史研究を担う人材を育成する

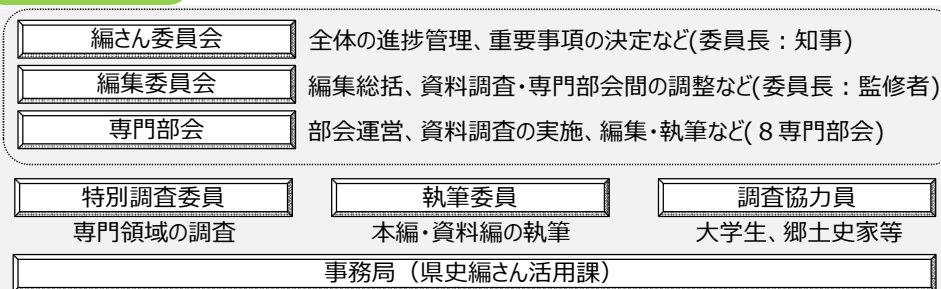
(2) 方針

- 日本と世界の歴史の流れの中で、本県の歴史的な変遷をとらえる
- （本編）図版等を多く活用し、県民に分かりやすく親しまれる記述にする
- （資料編）本県の特徴的な資料を採録し、地域の偏在がないように心がける
- 資料はデータ収集を原則とし、将来的に幅広く利活用できるようにする
- 市町村や関係団体と連携し、多くの県民が携わる体制をつくる

(3) 構成、期間及び計画

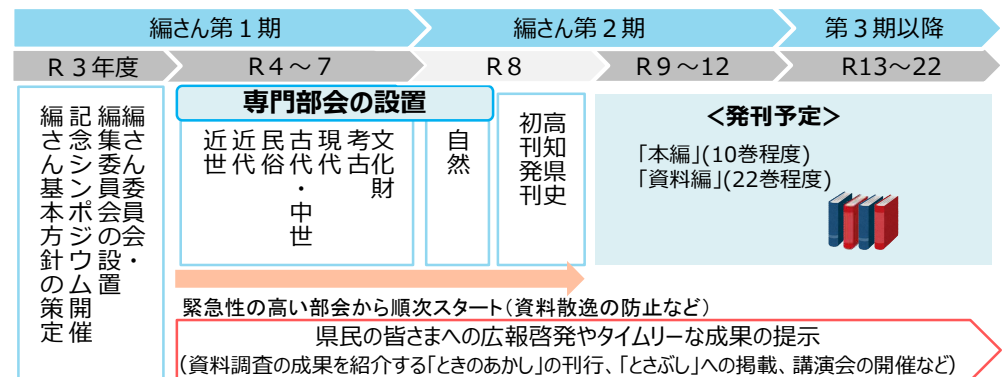
構成：古代・中世、近世、近代、現代、考古、民俗、文化財、自然（8分野）
 期間：20年間（令和3～22年度）
 計画：概ね5年ずつ4期に分けて進捗を管理し、必要に応じて計画を見直しする

(4) 組織



3 新県史の概要と全体スケジュール

	新県史	【参考】前回県史
編さん期間	20年間（R3～22）	15年間（S38～52）
構成	計32巻程度を想定 ＜前回県史に現代・文化財・自然を加えた8分野＞	計10巻（本編5＋資料編5） ＜考古・古代中世・近世・近代・民俗の5分野＞



4 令和8年度の主な取組予定

(1) 県史編さん体制の構築・運営〔41,049千円〕

- 「自然部会」の設置
- 編さん委員会及び編集委員会の開催



(2) 歴史資料調査・編集の実施〔96,262千円〕

- 各専門部会による歴史資料調査の実施
- 歴史資料の収集等を目的とした委託（古代・中世史料の抽出・分析、近代史料の修復）
- 『高知県史』の刊行（資料編近世1）

(3) 広報啓発・人材育成の実施〔2,880千円〕

- 広報誌の発行
 - ・文化広報誌「とさぶし」での県史特集…多彩な切り口から、高知の歴史の魅力を「より楽しく」紹介
 - ・資料調査の成果を紹介する「ときのあかし」…歴史資料の魅力や調査活動を「より詳しく」紹介
- 成果報告会の開催
- 資料調査を担える人材を育成する「歴史資料調査隊」養成講座・地元高校生の見学会の開催



※記号は進捗の状況
◎：完了
○：概ね計画どおり
△：少し遅れあり

部会名 (設置年)	(1) 編さん体制の構築・運営			(2) 歴史資料調査の実施								(3) 広報啓発・人材育成の実施						
	第一期計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	資料調査				資料編の編集				※参考 初巻発刊 年度	広報誌の発行				成果報告会	
				部会調査		委託調査		項目・目次		資料の活字化・校正			文化広報誌「とさぶし」		刊行冊子「ときのあかし」			
近世 (R 4)	◎	◎	5 回	・ 実地調査 5 回 ・ 調査資料群 9 件 史料点数 2,679点 撮影枚数 30,123枚	○	—	—	・ 項目の決定 ・ 目次案の作成	○	・ 翻刻(資料の活字化) 「資料編 1」完了	◎	R 8 年度 (資料編 1)	—	—	山中家文書	○	—	—
近代 (R 4)	◎	◎	4 回	・ 実地調査 37回 ・ 調査資料群 39件 資料点数 1,452点 撮影枚数 75,162枚 うち 資料群 1 件 資料点数 37点 画像 907枚 所蔵機関提供	○	資料翻刻委託 ・ 「細川義昌日記」の翻刻	○	・ 項目案の作成 ・ 掲載資料の選定	○	・ 翻刻(資料の活字化) 原稿用紙 約3,500枚分 ※数字上は超えている が、撮影が済んでいない 資料群が複数あり、分野 ごとに進捗状況に偏りが ある。	○	R 9 年度 (資料編 2)	・ オーテピア高知図書館レファ レンス(R7. 9(52号)) ・ 土佐和紙づくり(R7. 12(53 号)) ・ 「征清凱旋碑」(R8. 3(54 号))	○	竹村家資料	○	—	—
民俗 (R 4)	◎	◎	3 回	・ 実地調査 22回 ・ 文献リスト作成 口承文芸 303冊 6,082項目 ・ 市原麟一郎氏 民話録音テープ 81本分デジタル化	◎	—	—	・ 項目案の確定 ・ 掲載資料の選定	○	—	—	R 9 年度 (資料編 1)	・ 「高知県民俗文化財分布調 査」(R7. 6(51号)) ・ 土佐の自然と民話(R7. 12(53 号)) ・ 遍路宿(R8. 3(54号))	○	上ノ加江の太刀練り	○	—	—
古代中世 (R 5)	◎	◎	2 回	・ 実地調査 10回 ・ 調査 中世史料画像収集 2,820枚 長宗我部関連史料抽出 374点	○	東京大学史料編纂所 調査委託 ・ 本県関係史料の画像等収集 ・ 中世統合文書目録の作成 ・ 中世史料テキストの基礎校 正、整序	○	・ 項目案の作成 ・ 掲載史料の選定(収 集)	○	・ 活字化資料の基礎校 正、整序作業 (※対象) 古代史料 430点 中世史料 479点	○	R 10年度 (資料編 1)	—	—	「長宗我部盛親書状」	○	—	—
現代 (R 5)	◎	◎	4 回	・ 実地調査 33回 ・ 調査資料群 15件 資料点数 531点 撮影枚数 48,729枚	○	—	—	・ 目次案の追記 ・ 修正 (R6に案を策定済) ・ 掲載資料の選定	○	・ 翻刻(資料の活字化) 原稿用紙 約100枚分 (掲載頁 940枚分)	○	R 10年度 (資料編 1)	・ 入野松原(R7. 6(51号)) ・ 室戸市椎名漁業 (R8. 3(54号))	○	長官(知事)事務引継書	○	—	—
考古 (R 6)	◎	○	6 回	・ 実地調査 27回 ・ 調査資料データ化 調査カード 32件 遺物図化 90点	○	遺跡測量調査委託 ・ ドローンを利用した三次元 測量調査 1カ所朝倉古墳	○	・ 編集計画並びに 目次と項目の具体 案の確認	○	—	—	R 11年度 (資料編 1)	・ 成川遺跡(石棒)(R7. 12(53 号))	○	龍河洞 朝倉古墳	○	『境目城郭の構造から考える 幡多の戦国争乱～タキモト城 跡と小串城跡の縄張り調査か ら』(R7. 12. 7)	○
文化財 (R 7)	◎	R8策定	5 回 (※チーム 協議含む)	・ 実地調査 29件 ・ 資料確認 13市町村 ・ 調査資料データ化 国県指定文化財 「指定原票」スキャン 176件	○	—	—	・ 項目の基礎資料 収集	○	—	—	R 10年度 (資料編 1)	・ 文化財部会の発足(R7. 6(51 号)) ・ 豊永郷民俗資料館(R7. 9(52 号)) ・ 国指定登録有形文化財「佐野 家住宅主屋」(R7. 9(52号))	○	四国遍路	○	—	—
事務局	編さん委員会 1 回 編集委員会 3 回		○	・ 資料所在調査 全34市町村 (R 6 年度完了) ・ 追加資料調査 3箇所 (旧町村、旧自治体史収集資料等の調査)			○	・ クラウドシステムの運用、保守 (全部会共有フォルダの作成)			◎		【人材育成の実施】 ・ 「歴史資料調査隊」養成講座の開催 ◇資料撮影編 修了者 17人 ◇史料解説編 修了者 9人 ・ 高校生の見学会 ◇高知追手前高校 5 日間 参加者 13人 ◇高知学芸高校 1 日間 参加者 8人					○

部会名 (設置年)	(1)編さん体制の構築・運営				(2)歴史資料調査の実施					(3)広報啓発・人材育成の実施	
	第一期計画 策定	編集方針 策定	第二期計画 策定	部会 運営	資料調査		資料編の編集		※参考 初巻発刊 年度	広報誌の発行	成果報告会
					部会調査	委託調査	項目・目次等	資料の活字化・校正			
近世 (R4)	策定済	策定済	策定予定	3回	・史料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査史料群 1件	—	・項目の決定 ・目次案の作成	・翻刻(資料の活字化) 「資料編1」完了	R8年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	検討中
近代 (R4)	策定済	策定済	策定予定	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 2件	資料翻刻委託 ・「細川義昌日記」の翻刻	・項目案の作成 ・掲載資料の選定	・翻刻(資料の活字化) 原稿用紙 約800枚分 (※全体の約20%)	R9年度 (資料編2)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
民俗 (R4)	策定済	策定済	策定予定	5回	・民俗調査 14回 ・地名収集調査 6回 ・資料調査 民話の項目リスト作成 民話録音テープのデジタル化 民謡の楽譜作成	—	・項目案の確定 ・掲載資料の選定	—	R9年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
古代中世 (R5)	策定済	策定済	策定予定	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 6件	東京大学史料編纂所 調査委託 ・本県関係史料の画像等収集 ・地名辞典等収載史料の抽出 ・中世史料テキストの基礎校 正、整序	・項目案の作成 ・掲載史料の選定(収 集)	・活字化資料の基礎校正、 整序作業 (※対象) 古代史料 430件 中世史料 2,112件	R10年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
現代 (R5)	策定済	策定済	策定予定	4回	・資料調査 12回	—	・目次案の追記 ・修正 (R6に案を策定済) ・掲載資料の選定	・翻刻(資料の活字化) 原稿用紙 約100枚分	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 6月号掲載 刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
考古 (R6)	策定済	策定済	策定予定	6回	・遺跡等調査 18回 ・資料編1(旧石器～古墳) 所収予定遺跡の調査と原稿 素案作成(旧石器と縄文の 合計40遺跡見込) ・弥生時代と古墳時代の所収 予定遺跡の抽出と調査及び 原稿素案作成	遺跡測量調査委託 ・ドローンを利用した三次元 測量調査 1カ所朝倉古墳	・編集計画並びに 目次と項目の具体 案の確認	—	R11年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
文化財 (R7)	策定予定	策定予定	策定予定	5回 (※チーム協議含 む)	・資料調査 8回 県外施設調査 2回 チーム別調査 6回	—	・項目の基礎資料 収集	—	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 6月号掲載 刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
事務局	編さん委員会 1回 編集委員会 3回				・資料所在調査(追加調査) 合併前の旧町村、未確認資料の追跡など		・クラウドシステムの保守、運用		【広報啓発】 ・Instagramの開設・運用 ・庁内向けレター「県史編さん室 事務局だより」発行 【人材育成の実施】 ・「歴史資料調査隊」養成講座の開催 ◇資料撮影(静止画)編 2回 ・地元高校生の体験見学会		

部会名 (設置年)	(1)編さん体制の構築・運営			(2)歴史資料調査の実施					(3)広報啓発・人材育成の実施	
	編集方針 策定	第二期計画 策定	部会 運営	資料調査		資料編の編集		※参考 初巻発刊 年度	広報誌の発行	成果報告会等
				部会調査	委託調査	項目・目次等	資料の活字化・校正			
近世 (R4)	策定済	策定済	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査史料群 1件	—	・「資料編3」の項目検討	・翻刻(史料の活字化)	R8年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
近代 (R4)	策定済	策定済	5回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 7件	資料調査委託 ・兵事資料の解体及び 複製本	・項目の決定 ・掲載資料の決定	・翻刻(資料の活字化) 「資料編2」完了	R9年度 (資料編2)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
民俗 (R4)	策定済	策定済	3回	・本編関連合同調査 1回 ・資料編1関連調査 26回 ・資料編2民具調査 4回 ・調査 [民俗アンケート実施17市町村]	—	・項目の決定 ・掲載資料の選定	資料の活字化、解説執筆 ・民話 300ページ ・民謡 300ページ ・地名 300ページ	R9年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
古代中世 (R5)	策定済	策定済	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 4件	東京大学史料編纂所 調査委託(受託研究) ・本県関係史料の画像等収集 ・地名辞典等収載史料の抽出 ・中世史料テキストの基礎校 正	・項目案の作成 ・掲載史料の選定(収集)	・活字化資料の基礎校正、 整序作業(R8～R9実施) (※対象) 古代史料 430件 中世史料 2,200件程度	R10年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
現代 (R5)	策定済	策定済	5回	・資料調査 10回	—	・掲載資料の確定	・翻刻(資料の活字化) 原稿用紙 約500枚分	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 6月号掲載 刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
考古 (R6)	策定済	策定済	6回	・遺跡等調査 18回 ・資料編1(旧石器～古墳) 所収予定遺跡の調査と原稿 素案作成(旧石器と縄文の 合計40遺跡見込) ・弥生時代と古墳時代の所収 予定遺跡の抽出と調査及び 原稿素案作成	—	・編集計画並びに 目次と項目の具体 案の確認	—	R11年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	調査報告会： 四万十市(2月頃)
文化財 (R7)	R8策定予定	策定済	4回	・資料調査(チーム別)：35回 ・史跡：8回 ・文化的景観：1回 ・民俗文化財：4回 ・天然記念物(植物)：17回 ・天然記念物(地質)：5回	—	・構成(目次、解説総論、 本文)の決定 ・書きぶり方針の決定 ・コラム方針の共有 ・項目の基礎資料収集	・挿図、掲載画像データ化	R10年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	その他： ・高知市民の大学 (第100期) ・香美市教育委員 会ワークショップ
自然 (R8)	R9策定予定	策定予定	2回	・資料調査及び協議 4回	—	・巻構成の検討 ・項目の基礎資料 収集	—	R15年度 (本編)	文化広報誌「とさぶし」 6月号掲載 刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
事務局	編さん委員会 1回 編集委員会 3回			・資料所在調査(追加調査) 合併前の旧町村、未確認資料の追跡など		・クラウドシステムの保守、運用			【広報啓発】 ・Facebook、Instagramの運用 ・庁内向けレター「県史事務局だより」発行 【人材育成の実施】 ・「歴史資料調査隊」養成講座の開催 ◇資料撮影(静止画)編 1回 ・地元高校生の体験見学会	

※記号は進捗の状況
◎：計画以上に進んでいる
○：おおむね計画どおり
△：計画より遅れている

部会名 (設置年)	(1)編さん体制の構築・運営				(2)資料調査の実施 (計画部分：第一期計画より引用・要約)				(3)編集 (計画部分：令和7年度編集委員会資料より引用)				
	第1期 計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	区分	調査した主な資料群・文化財等 調査実施地域		資料データの収集 (撮影等)の状況		刊構成、収載項目 (目次)の決定状況		資料の活字化(翻刻等) ・図化・校正 (執筆原稿案化)		※参考 初刊発刊 年度
近世 (R4)	◎	◎	16回	計画	・県内外の文化施設や個人が所有する古文書の悉皆的な所在確認を実施 ・県内外の近世に関する史料について実地等による確認や調査を実施				・項目の決定 ・目次案の作成		・資料の活字化（「資料編1」翻刻完了）		R8年度 (資料編1)
				実績	・山中家文書・足達家文書（芸西村） ・関田英里氏収集史料（高知市） ・門脇家文書（馬路村） ・北川家文書（東洋町） ・伊賀家古文書・妙栄寺寺古文書（宿毛市）等	◎	・調査史料群 26件 史料点数 8,661点 撮影枚数 88,566枚	◎	・掲載史料の検討、選定（R5～R7年度） ※掲載史料 藩志内篇、山内家、五藤家、森家 加賀野井家 ・刊構成検討（R6～R7年度）	○	・史料の活字化 「資料編 近世1」 984頁分 その他 683頁分	○	
近代 (R4)	◎	◎	16回	計画	・県内の博物館、資料館、並びに県及び市町村の関係部署、図書館及び国立公文書館や国立国会図書館など、県内外の資料保存機関が所蔵する資料の収集などを念頭に、資料の所在情報確認を実施 ・調査に当たっては、県内を各地域に分けて、地域ごとに集中的な調査を実施。				・項目案の作成 ・掲載資料の選定		・資料の活字化（翻刻）356頁分 (資料編1ページ換算：950字換算)		R9年度 (資料編2)
				実績	・旧池川町役場資料（仁淀川町） ・安芸市旧役場・戸長役場文書（安芸市） ・北原村役場資料（土佐市） ・高知市立自由民権記念館所蔵資料（高知市） ・高知市民図書館所蔵資料（高知市） ・室戸市旧役場資料 ・土佐町旧役場資料 ・市町村議会資料（須崎市、大月町、土佐清水市等）	○	・調査資料群 50件 資料点数 6,240点 撮影枚数 322,189枚	○	・誌面構成の検討（R7年度） ・ページ割りの検討（R7年度） ・章、節の検討（R7年度） ・掲載資料選定（R7～8年度）	○	・資料の活字化（翻刻） 「資料編2」 474点（1,730頁）	○	
民俗 (R4)	◎	◎	15回	計画	・関係者への聞き取り、生活道具、石造物、建築物、絵画資料、祭り、行事、芸能などの調査、民俗関連の文献などの調査 ・本県の民俗に関して県内外で発表された論文、資料報告、著書等について、文献リストを作成				・項目案の確定 ・掲載資料の選定		—		R9年度 (資料編1)
				実績	・合同民俗調査 4回 (中土佐町・橋原町、東洋町、幡多地域) ・個別調査 88回（委員・調査協力員・事務局） ※民俗芸能調査5回(動画撮影3回含む) ・中土佐町民具整理調査	◎	・民話文献リストの作成（口承文芸）476冊 13,801項目 ・民話録音テープのデジタル化 81本 ・民謡楽譜浄書作業 24曲 ・高知県地名データベースの作成（大字・小字）118,000件	◎	・「資料編1」の巻構成決定 (民話・民謡・地名：R5年度) ・「本編1・2」の項目案（R5年度）	○	・「資料編1」 民話 掲載第1次選定リスト作成 民謡 原稿300頁 地名 掲載150地名選定	○	
古代中世 (R5)	◎	◎	9回	計画	・前回県史所収の近世編さん史料集（「土佐国壺簡集」など）の調査、県内外自治体史収録史料のデータ収集、関係論文の悉皆的調査、東京大学史料編纂所での複製史料抽出作業及びその他必要な史料調査（事前調査、部会調査、個別調査）を実施				・項目案の作成 ・掲載史料の選定（収集）		・活字化資料の基礎校正、整序作業 (※対象) 古代史料 430件 中世史料 2,112件（R8・R9の前倒し）		R10年度 (資料編1)
				実績	・土佐国壺簡集 ・東京大学史料編纂所所蔵画像 (マイクロ・デジタル) ・香宗我部家伝証文（東京国立博物館蔵）等	◎	・中世史料統合文書目録 2,470点完了 (資料選定の基礎データ整理)	○	・資料編各巻の巻構成を決定（R5年度） ・掲載項目の整理（R7年度）	○	・資料の活字化 古代資料 430点 中世資料 479点	○	

『高知県史』編さん事業 第1期総括表（令和3～7年度）					※記号は進捗の状況 ◎：計画以上に進んでいる ○：おおむね計画どおり △：計画より遅れている				資料1－4					
部会名 (設置年)	(1)編さん体制の構築・運営				(2)資料調査の実施 (計画部分：第一期計画より引用・要約)				(3)編集 (計画部分：令和7年度編集委員会資料より引用)					
	第1期 計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	区分	調査した主な資料群・文化財等 調査実施地域		資料データの収集 (撮影等)の状況		刊構成、収載項目 (目次)の決定状況		資料の活字化(翻刻等) ・図化・校正 (執筆原稿案化)		※参考 初刊発刊 年度	
現代 (R5)	◎	◎	12回	計画	・オーテピア高知図書館や県立公文書館などに収蔵されている本県現代史の文献及び資料の調査を実施するとともに、県内各地域の関係機関、施設等において、資料の所在調査を実施。 ・国立国会図書館・農林水産省図書館・JICA海外移住資料館などの県外の関係機関、施設での公文書・文献調査の実施。						・目次案の追記・修正(R6に案を策定済) ・掲載資料の選定		・資料の活字化(翻刻)44頁分 (資料編1ページ換算：950字換算)	R10年度 (資料編1)
				実績	・県議会議事録 ・県立公文書館(特定歴史公文書等) ・オーテピア高知図書館資料 ・県国保連合会資料(高知市) ・土佐清水市漁協資料(土佐清水市) ・国立国会図書館・農林水産省図書館(東京都内) ・JICA海外移住資料館(神奈川県) ・神戸市立海外移住と文化の交流センター(兵庫県) ・各高知県人会会長等への聞き取り調査	◎	・調査資料群 49件 資料点数 1,774点 撮影枚数 175,430枚	○	・巻構成検討(R5年度巻構成検討) ・目次検討(R6年度仮目次策定) ・頁配分の設定(R6年度より) ・掲載資料選定(R6年度より)	◎	・資料の活字化 「資料編1」 396頁分	◎		
考古 (R6)	◎	◎	7回	計画	・旧石器時代から古墳時代までの、約270ヶ所の主たる遺跡を抽出し、それらについての調査を実施。				・編集計画並びに目次と項目の具体案の確認		—		R11年度 (資料編1)	
				実績	・資料編考古1 旧石器・縄文時代/弥生時代/古墳時代の掲載遺跡数選出と調査(古墳石室と出土物の調査)並びに執筆 ・資料編考古2 県央部の古代寺院出土物の調査と幡多の中世山城調査 ・資料編3 近世武家等の墓所調査 ・総合項目 物部川・仁淀川・古浦戸湾の旧地形 (調査件数合計 107件：R6・7)	◎	・考古資料図化 282点(R6・R7) (舟岩古墳群出土物、宿毛貝塚出土物等) ・弥生時代遺跡遺構一覧表作成 17遺跡 ・弥生時代遺跡情報整理 24遺跡	◎	・巻構成(協議済：R8年内に決定予定) ・目次(巻構成に則す) ・頁配分(協議済：R9年度末までに確定予定) ・掲載資料選定(実態数)	◎	・資料編考古1(経過報告) 旧石器14遺跡 縄文19遺跡 弥生14遺跡 古墳1遺跡	○		
文化財 (R7)	◎	R8策定	4回	計画	・資料編1巻目に収載する文化財(無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観等)が置かれている現状を把握するため、県内文化財の調査報告書や修復、保全・保護・活用などに関する情報の収集及び資料化 ・資料編1巻目収載の文化財の現地調査を実施				・掲載項目の基礎項目策定		—		R10年度 (資料編3)	
				実績	・資料調査：13市町村(津野町ほか) ・実地調査(委員) ・史跡：12件(関連する市町村史跡含む)(宿毛市ほか) ・民俗文化財：4件(室戸市ほか) ・天然記念物 植物：6件(奈半利町ほか) 地質：8件(四万十市ほか) ・文化的景観：1件(四万十町)	◎	・文化財指定原票スキャン 176件 ・無形民俗文化財保存会等活動実態調査アンケート送付 40件(うち回収：37件) ・遍路道関係の資料の収集 2件 ・史跡の現状撮影 12件 ・市町村指定文化財データ作成 13件 ・指定以前の史跡画像データ作成 1件	◎	・巻構成の確定 収載項目(指定文化財別) ・ページ構成(フォント・文字数等)	◎	・原稿に挿入する文化財指定時の資料及び写真 176件 ・史跡の自然石塔婆の銘文活字化 1件	◎		
※編集方針は部会発足の翌年に作成するため、文化財部会は令和8年度に策定予定(文化財部会：令和7年度発足)														
事務局	・編さん委員会 4回 ・編集委員会 14回		○	実績	【資料データ収集・管理】 ・資料所在概要調査全34市町村(R6年度完了) ・県史クラウドシステムの開設、運用(R5～) 【人材育成の実施】 ・「歴史資料調査隊」養成講座の開催 10回(R4～) ◇資料撮影編 修了者70人 ◇聞き書き・動画撮影編 修了者7人 ◇史料解説編 修了者18人				【広報・啓発】 ・成果報告会の実施(R4～)(中土佐町、芸西村、安芸市、四万十市) ・文化広報紙「とさぶし」年4回(R6～) ・県史編さんニュースレター「ときのあかし」年1回(R6～)				○	

特記事項：その他実績（計画以上に取り組んだ内容など）		
部会	部会活動（事例報告会や資料紹介等）	事務局の取組（データ整理環境の構築など）
近世	・調査報告会と講演会の実施（R5） 旧久重村（芸西村）の史料調査の結果を報告 歴史資料保存と土佐清水 大津地域の古文書シンポジウム（高知地域資料ネットワーク・土佐清水市と共催）で史料所在調査の報告を行った ・調査結果の共有 高知県立図書館へ目録等を提供	・調査した史料群の目録作成及び撮影 ※原則、史料は時代問わず全点撮影 ・人材育成（撮影・翻刻）
近代	・調査報告会の実施（R6安芸市） 旧役場資料に関する調査結果を報告。 ・資料編3以降に収載予定の資料調査 ・県内の他の資料保存機関と連携し、収蔵資料の提供を受ける。	・目録作成 ・撮影データの整理 ・資料翻刻サイクルの構築 ・「戦前期高知県職員録」及び「戦前期高知県法令一覧」の目録化
民俗	・地域の方へのアンケート調査の実施 （「本編1」民俗地図作成のための基礎データ収集） ・アンケート調査事前準備 県内34市町村訪問（依頼）	・クラウド環境整備（収集・作成データ整理） 合同調査資料、資料編1（民話文献、市原氏録音テープ、民謡音源・映像データ、地名データ）資料、民具調査資料、市町村別民俗調査ノート、民俗文献リスト など
古代・中世	・東京大学史料編纂所への受託研究との連携 （ネットワーク環境における史料集編纂作業）	・旧県史及び東京大学受託研究以外での史料調査 ・古代史料校正作業
現代	・調査報告会の実施（R5 芸西村） 久重会（旧芸西村の同郷会）に関する調査結果報告	・県内外の団体等への資料調査 26件（聞き取り含） 第一次産業5団体（JA・JF・木材協会等） 第二次産業4団体（工業会・酒造組合等） 第三次産業17件（各高知県人会・とさでん交通等）
考古	中世山城の調査成果の報告会実施（R7.12、R8.1）	・委員調査に向けた地元との調整等
文化財	・「土佐の伝統芸能フォーラム」における啓発活動（R8.1 高知市） ・史跡、民俗文化財に関する論考の執筆	・作成 ・民俗文化財祭礼日程（市町村別） ・文化財指定史（分類別） ・調査者、調査担当者一覧表（分野別） ・文化財指定原票データのクラウドアップ 176件

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性
				古代 中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然	
R3. 11	移民関係 (旧満州, 南米)	旧満州からの引揚げ、また南 米移民に関して調査をしてほ しい	県議会議員			○	○					・前回県史にて取り上げた項目。部会内で協議し、担当委員を選任。具体的な調査については今後検討予定。（近代） ・令和５年度に満州移民について旧西土佐村にて、令和６年度は南米移民関係について海外資料に関する資料所蔵施設に聞き取り調査を実施。（現代）
R3. 11 R6. 9	よさこい祭り	よさこいは高知の特色ある祭 りであり、調査及び歴史につ いて調査してほしい	県議会議員 大学職員				○		○			・県内の祭礼について、各地域にて調査中。民俗編で「まつり」を項目とし、伝統的な祭礼とともに「よさこい」を扱う案もあるが、確定されたものではないため、今後も検討を進めていく。（民俗）
R4. 4	南海トラフ地震	新たな県史では、南海トラフ 地震など震災関係は、どのよ うに取り上げられるのか	編さん委員	○								○各時代の専門部会において、南海トラフ地震など災害の歴史を取り上げる。 ・本編の構成案で、古代における地震など自然災害を取り上げている。（古代・中世） ・資料編の構成案で災害関係を取り上げており、資料調査を進めていく。（近世、近代） ・災害単体ではなく「くらし」との関連の中で問題を検討していく。（現代） ・物部町の久保高井の山崩れ伝説をはじめ、災害にまつわる伝承の残る地域での聞き取り調査を行っていく。（民俗） ・柱立ての一つとして災害を取り上げ検討を行う。（自然）
R4. 7	仁淀川水系の 水害	日高地区の水害の歴史につ いて取り上げてほしい（鎌田堰 の影響による洪水発生、村に 明治以降の治水関係資料あ り）	日高村		○	○	○	○		○		・柱立ての一つとして災害を取り上げ検討を行う。（自然）
R4. 9 R8. 7	大寺廃寺	高知市春野の大寺廃寺につ いて、本県の古代史の解明が期 待できるため、発掘等の調査 をしてほしい	春野文化財 友の会 県議会議員	○				○				・県内の古代寺院については、古代・中世、考古において、地元自治体と連携しながら調査の検討・部会協議を進めていく予定。（事務局）
R4. 10	ビキニ環礁被曝	新たな県史編さんにあたり、 被災の実態を県としても調 査・記録し、後世に広く伝え るよう記載してほしい	県議会議員				○					・ビキニ被災に限らず、重要な戦後の歴史を取り上げていく。（事務局） ・令和５、７年度に宿毛市、令和６、７年度に室戸市にて調査実施。（現代）
R4. 10	幡多地区の歴史	高知市中心の歴史だけではな く、幡多の歴史も取り上げて ほしい（文武館、法然上人、 迅衝隊など）	樋口真吉 顕彰会	○								・令和５年度に、幡多地域をフィールドとした資料調査を実施。（近世）（現代）（民俗） ・令和６年度以降も調査実施予定しており、既に令和６年度近代部会の合同調査では四万十市の郷土博物館や土佐清水市の議会事務局等で調査を実施した。（古代・中世）（近代）（考古） ・現代資料編では、高知県西部(主に幡多地域)に焦点をあてた構成を検討している。
R5. 4	昭和の教育	昭和時代の本県教育史を知 る方は年々少なくなってお り、昭和の教育史に力点を置 いてほしい	高知新聞 オピニオン			○	○	○		○		・令和４年度に県立高知小津高等学校の資料調査を実施。（近代） ・令和５年度に県立高知工業高等学校及び県立春野高等学校の校友会資料、土佐清水市旧大津小学校資料の調査を実施。（近代）（現代） ・令和６年度には土佐女子中学高等学校、市立高知商業高等学校の資料調査を実施。（近代）
R5. 10	海外資料の調査	資料調査活動を県内にとどま らず、海外も視野に入れて積 極的に行ってほしい	県議会議員	○								・本県に関する資料が海外にも所在することを把握している(戦争関係資料など)。そこで、現地の県人会などの協力のもと情報を収集し、必要性を精査したうえで海外調査を検討したい。
R6. 6	無形の文化財の 記録化	伝統工芸などの貴重な技術 を次の世代に引き継ぐために、 (製作過程などを)動画で残す など、早く調査してほしい	県議会議員						○	○		・調査における資料採取は、できる限り写真や動画などデジタルデータで収集・保存している。 ・伝統工芸など無形の文化財は、関係の専門部会で協議のうえ調査を進めるが、収集したデジタルデータは、将来的に公開を検討しているデジタルアーカイブで共有するなどにより、次の世代への継承につながるよう取り組んでいきたい。

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性
				古代 中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然	
R7. 4	文化史や宗教史の掲載	文化史、特に文学史を取り上げてほしい。宗教史（四国遍路や県内の宗教の広がりなど）も取り上げてほしい	県議会議員				○					○宗教や文化に関する資料は、各時代の専門部会で取り上げていく計画。 （例） ・資料編2に宗教や文学の史料を収載。（古代・中世） ・資料編2・3に宗教・文化の史料を収載。（近世） ・資料編に「宗教と文化」の章を立て、資料収載予定。（近代） ・資料編に「教育・文化」の項を立て、資料を収載予定。（現代）
R7. 9	自由民権活動家の調査	山嶽社、和田三郎について調査をしてほしい	編さん委員			○						・和田三郎や山嶽社の活動については、資料編1、資料編2で取り上げていく。通史編においても、取り上げていくことを検討。
R7. 9	高校教員を対象とした見学会・研修会	高校生、大学生だけではなく、歴史を担当する若い職員たちへの研修や見学の機会を設定してほしい。	編さん委員					事務局				・令和7年度に実施した高校生の見学受け入れ時に、職員が計4名参加。 ・県立学校長会議、高知市立学校長連絡協議会、高知県市町村教育長会議にて当事業の概要を周知。 ・また、教職員に対し、県史編さん事業の周知を実施 （参考）R7年度：高知小津高校、高知北高校、高知国際高校、高知学芸高校、土佐高校、土佐女子高校へ訪問 R8年度：高知丸ノ内高校、春野高校、高知東高校、岡豊高校へ訪問、土佐塾高校へチラシ配布
R7. 10	「部落問題」の取り上げ方について	全体の部落問題の取り上げ方について、記載方法としては、差別の拡散ではなく、差別解消的な記述方法を求められる必要があり、その方向性を明確にすること。	県議会議員							編集委員会／事務局		・県史編さんでは、同和問題をはじめとする人権全般について「高知県人権施策基本方針」に則った「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を策定している。今後の県史編さんにおいては、策定した方針に沿って進めていく予定である。
R7. 10	「部落問題」の取り上げ方について	「部落問題」の取りあげ方について、「近世」から「現代」までを貫く位置づけが必要であり、現状において、当事者団体、関係団体（個人を含む）との協議がなされておらず、相談・協議とまではいかなくとも、最低限、意見聴取とそれに対するフィードバックが必要ではないか、そのあり方と反映の仕方について明確にすること。	県議会議員							編集委員会／事務局		・『高知県史』は本県の歴史を学術的に記述するものであることから、各専門部会において、必要に応じて有識者の協力を得て検討を進めている。その検討は各専門部会において、担当する時代・テーマごとに進めており、現時点では、特定の課題を横断的に取り上げていない。 ・同和問題をはじめとする人権全般の課題については、これまでの協議やいただいた要望も踏まえ、県史編さん編集委員会として十分に議論した上で「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を定め、その叙述について慎重に取り扱うこととした。 ・方針や県史の検討状況は、その都度ホームページに掲示している。県史事業に対するご意見や要望は、ホームページなどで随時受付けており、いただいた意見・要望は事務局で集約のうえ、編さん委員会・編集委員会で検討し、その結果をホームページに公表している。

人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針

令和 8 年 6 月 4 日
高知県史編さん編集委員会

1 編集委員会としての考え方

(1) はじめに

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等である。世界人権宣言にうたわれているこの理念は、人類普遍の原理であり、日本国憲法においても、法の下での平等及び基本的人権の保障について定められている。

この理念の下に、すべての人々がそれぞれ一人の人間として、お互いを大切にし、大切にしよう人権尊重の社会を築くこと、差別のない、差別が受け入れられない人権尊重の考えが普遍的な文化として根付くことが必要である。

以上の理念及び考えを踏まえ、高知県人権施策基本方針に則り高知県史の編集に取り組むことが必要である。

(2) 編さんと発刊にあたって

高知県史の発刊は、各時代・分野の方法論により、客観的な史資料に基づいて学術的に調査・研究した成果を、広く県民に公開することを目的としている。決して人権を軽視したり、差別を容認や助長しようとするものではない。

そのため、各専門部会においては、資料の掲載や記述の内容について、県史を歴史研究等の資料として有効に活用していただくことを考慮し、学術的な見地から十分に議論をした上で、県史発刊に向け編集を進めることに留意する。

2 人権に関する事項や個人情報に関する事項等の取扱いについて

各専門部会においては、下記に関する事項の取扱いについて、調査及び編集の過程で特に慎重な取扱いを行う。

○高知県人権施策基本方針に掲げる人権に関する事項

○個人情報に関する事項

また、史資料の掲載や、記述を行う場合、その取扱い方については、高知県史編さん基本方針及び本方針等に基づき、その趣旨を踏まえ、各専門部会で十分に検討する。

上記を踏まえ、編集委員会として本方針を策定する。

広報啓発・人材育成の実施状況について

1. 広報啓発

(1) 文化広報誌「とさぶし」の刊行

- ・文化広報誌「とさぶし」を活用した広報の展開（「つないでつむいで 県史編さん」）。
- ・令和8年度も6月、9月、12月、3月の計4巻発刊予定。
6月・・・自然部会の始動

(2) 高知県史編さんニュースレター「ときのあかし」の刊行

- ・県史編さんにかかる調査活動によって得られた成果を広くお知らせすることを目的とし、県史編さんの取組を広く県民の方に知ってもらい、高知県の歴史や身近な遺跡などに関心を持ってもらうことを目指す。
- ・文化広報誌「とさぶし」よりは専門性が高く、調査活動での成果報告を行う。
- ・主に、県内の文化施設、高等学校などに配付。

(3) 講演会等の開催

- ・高知市民の大学（第100期・火曜日コース）において、県史で調査している高知県の文化財について計15回の講演を予定。
- ・成果報告会については、考古部会が実施予定（四万十市2月頃を予定）。

(4) SNSの運営

- ・Facebook（令和6年度～）、Instagram（令和7年度～）で、各専門部会の日々の調査の様子や行事のお知らせなどを投稿。

2. 人材育成

(1) 「歴史資料調査隊」養成講座の開催

- ・令和7年度は下記のとおり実施。

①資料撮影編（計2回）

実施日：令和7年6月23日・24日、令和8年1月24日・25日

講師：高知県立高知城歴史博物館 総務企画課地域企画室

内容：資料撮影編（歴史資料の取扱い方、写真撮影方法など）

修了者：計17名



②史料翻刻編

実 施 日：令和7年11月30日・同年12月7日・13日・14日

講 師：高知県立高知城歴史博物館 館長 渡部 淳

内 容：くずし字の解読、史料カード採録の仕方など

修 了 者：9名

- ・令和8年度は下記のとおり実施予定。

実 施 日：令和9年1月16日・17日

講 師：高知県立高知城歴史博物館 総務企画課地域企画室

内 容：資料撮影編（歴史資料の取扱い方、写真撮影方法など）

受講者数：12名（予定）

- ・修了生を会計年度任用職員（日々雇用）として採用予定。県史編さん活用課での資料撮影、データ整理業務等に携わっていただく。
- ・修了生に対し継続的に歴史資料調査に携わる機会を提供していく。



（2）地元高校生による資料調査見学の開催

- ・令和7年度は下記のとおり実施。

①高知追手前高等学校

実 施 日：令和7年7月23日・24日・25日、
同年12月23日・25日

内 容：古文書の取扱い、資料撮影、翻刻の体験

参加者数：計13名



②高知学芸高等学校

実 施 日：令和8年3月27日

内 容：近世部会調査の見学、翻刻の体験、資料撮影の見学など

参加者数：8名



- ・近世部会調査の見学では、調査参加者の大学院生や学部生等にご協力いただき、作業内容を説明いただいた。
- ・参加した学生からの評価はとても好評であり、興味を持っていただく機会となった。
- ・令和8年度は下記のとおり実施。

①高知学芸高等学校

実 施 日：令和8年5月25日

内 容：古文書の取扱い、資料撮影、翻刻の体験

参加者数：5名

②高知東高等学校

実 施 日：令和8年7月30日

内 容：資料の説明や資料撮影の見学など

参加者数：2名

- ・上記のほか、9月15日に高知学芸高等学校が近世部会調査の見学を予定。
- ・今後も、随時見学の受け入れを行う。

(3) 高知大学教育学部生への講義

- ・令和5年度から実施している近世部会望月委員のゼミ生（高知大学教育学部）への実習を今年度も実施。
- ・県史の概要や資料調査時の留意点などを説明した後、史料の翻刻を2～3人1組で取り組んだ。

実 施 日：令和8年7月1日

内 容：県史の概要説明、翻刻体験

参加者数：5名

- ・来年度以降も継続予定。



近代部会活動報告

2026/09/07

1. 部会の活動

(1) 部会の開催 2025 年 9 月～2026 年 7 月 計 5 回開催

(2) 部会委員参加の合同調査の実施

①2025 年 9 月 18～19 日 須崎市議会事務局及び教育委員会が所蔵する議会文書・行政文書の調査

②2026 年 2 月 15～17 日

土佐町文化センター及び本山町役場において「土佐町旧町村関係文書」・「本山町議会事務局所蔵文書」を調査

(3) 各委員による個別の資料調査

オーテピア高知図書館、高知市立自由民権記念館・高知県立歴史博物館・いの町紙の博物館・同志社大学等

(4) 上記資料調査済み資料の撮影とクラウドへの登載

(5) 『高知県史 近代資料編 2』（令和 9 年度刊行）の編集作業

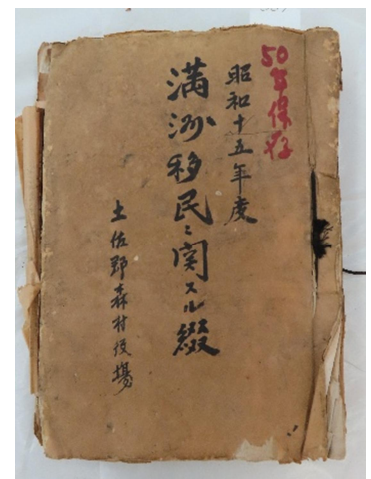
①目次構成(章節・頁配分)の確定 全 10 章

②部会と並行して各委員からの作業報告会を開催、各章節での掲載資料候補を提示、検討

2. 資料調査の活動——土佐町文化センター所蔵の「土佐町旧町村役場文書（近代資料）」

①土佐郡の地蔵寺村・森村、長岡郡田井村が合併して戦後土佐町発足、この 3 村から引き継いだ文書群

約 230 冊（主に大正～昭和戦前期）



②森村役場資料『満洲移民ニ関スル綴』（昭和 15 年度）には、土佐郡が移民を郡内各村に割り当てる通知文書が含まれている。こうした指示があったことはこの文書によって初めて明らかになった。

1. 主な部会活動

(1) 調査

①経過

刻書土器関係および貫之が見た国分川下流域の歴史的景観復原をはじめ、第1編の旧石器時代から古墳時代までの調査に加え、第2編以降の調査が順調に進んでいる

②予定

古墳時代では刻書土器の科学分析と龍河洞遺跡の古墳時代鉄鏃の新たな評価に加え、元親から一豊移行期の大高坂・高知城下の再評価に向けた調査などが予定されている。

(2) 編集状況（資料編1の目次案に沿った具体的な作業が進んでいる）

巻頭図版、学史（その1）、概説（旧地形、編年表、現県史に基づく旧石器～古墳時代の振り返り）、時代各説（旧石器時代～古墳時代）〔遺跡紹介・特別項目・コラム・総括〕、第1編総括（①旧石器時代から古墳時代へ高知の歴史はどのように変わっていったか。②それは周辺地域との関係を含めた日本の歴史のなかでどのように位置づけられるのか。③本編への誘いなどを部会関係者による座談会形式で掲載）

(3) 活用

高等学校の先生方との連携（予定）

2. 調査報告（「若宮ノ東遺跡出土の刻書土器」の科学分析計画について）

(1) 調査内容

刻書土器の年代に関わる3世紀から5世紀までの間をおよそ30年毎で区切り、それぞれの年代の基準となる遺跡から出土した土器の特徴の変化を検討し、考古学的手法で刻書土器の時代と汎日本的な視野からの位置付けそして日本史における位置付けを明らかにする。

(2) 調査結果（経過報告）

地球科学や地球物理学の専門家に加勢いただくことで、刻書土器の自然科学分析（製作地の割り出しや年代測定等）に取り組むこととしたい。



7月2日のキックオフミーティングにおける調査風景

1. 主な部会活動

(1) 調査

◎幡多地域において合同調査を実施（R7.10.25～28）

- ・宿毛市（鶴来島の秋祭り調査、90代の女性から昔の暮らしについて聞き書き調査等）
- ・土佐清水市（バラ抜き節保存会の民謡聞き書き調査）
- ・四万十市（「泰作の墓」の民謡関連調査、四万十川中央漁協での川漁調査、佐竹染工場でのフラフ調査、貴船神社の絵馬調査等）
- ・大月町（柏島の町・漁業調査）

◎今後の予定

- ・物部川流域（南国市・香南市・香美市）における合同調査
川漁、シラス漁、農業（棚田、焼畑）、製茶など
- ・『本編』巻頭に掲載する民俗地図作成のためのアンケート調査（R8～9年度175地点）
- ・『資料編2 民具(仮)』の執筆に向けた県内民具調査

(2) 編集状況

◎『資料編 民俗1 民話・民謡・地名』（令和9年度末刊行予定）

掲載項目・内容

- ・民話の部 民間神話5話、伝説40話、昔話34話、世間話22話、人物譚10話
- ・民謡の部 労作歌（農耕、山仕事、海の仕事、諸職、交通運搬）、祭り歌・祝歌（祝儀・神事、祭、行事歌・とむらい歌）、踊り歌（念仏踊り、花取踊り、太鼓踊り、盆踊りほか）、座興歌・新民謡（よさこい鳴子踊りほか）、語り物・祝福芸、子守歌、わらべうた
- ・地名の部 総論（高知県の地名、地名の改変・消滅・創出ほか）、自然と地名（地形と地名、自然災害と地名、生物と地名）、人の暮らしと地名（歴史と地名、集落と地名、交易・紀行と地名、生業と地名、信仰と地名）、コラム、資料

2. 調査報告（『資料編 民俗1』民話の部関連調査（佐川町の伝説））

佐川町の乗台寺に伝わる「猫檀家」の言い伝えについて、住職より話を聞く。

葬送の際に死体を奪おうとする火車（猫又）を乗台寺の和尚が退けた話。幕末から明治初期の制作と推定される『土佐化物絵本』にも描かれている。乗台寺（真言宗智山派）は深尾家と所縁の深い祈願寺であったことも、この伝説と結びついた一因と考えられる。



古代中世部会 活動報告

1. 主な部会活動

(1) 調査

- ・11月20日 香川県立図書館・香川公文書館における文献調査
- ・12月2日 高松市香南歴史民俗郷土館における「由佐家文書」調査および香川県立ミュージアム所蔵「豊臣秀吉朱印状」調査
- ・12月20～21日 香川県所在史料の調査：香川大学ほか
- ・1月15～16日、2月1日 借用した「北川家文書」の調査・撮影
- ・2月27日 みとよ未来創造館における「秋山家文書」調査
- ・3月5日 水戸市立博物館における長宗我部関係史料の調査
- ・3月6日 東京国立博物館「香宗我部家伝証文」1～3巻 熟覧調査

今後の予定

- ・東京国立博物館「香宗我部家伝証文」4～6巻 熟覧調査（9～10月に予定）

(2) 編集状況

初刊となる「資料編1古代中世①」に向けた編集作業を中心に、以降続刊の資料編も睨んで、3つの作業班を編成して取り組みを強めている

①古代史料編纂作業班：飛鳥時代以降の史料（約430点）の校正作業・資料編1収載

②中世史料編纂作業班：鎌倉時代以降の史料の収集、校正作業（現在2500件を検出し、適宜校正を実施中）・県内史料は資料編1収載

③長宗我部史料収集作業班：本県中世を代表する長宗我部氏に関わる史料の検出作業
10月31日開催の第9回部会、5月17日開催の第10回部会で基本方針を固め、適宜事務局・部会委員が連携して作業を進めている。

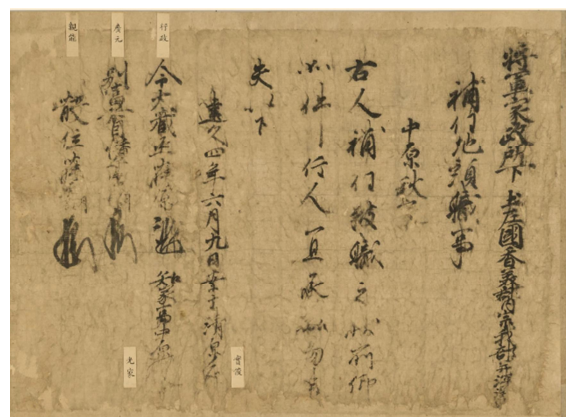
2. 「香宗我部家伝証文」調査報告（東京国立博物館における熟覧調査）

(1) 調査内容

鎌倉時代に香美郡香宗我部郷の地頭として登場以来、戦国期まで土佐国内で活躍した香宗我部氏が伝えた古文書60余点および系譜・目録からなる史料群。高知関係史料では極めて数が限られている中世前期の原文書が多く含まれており、その詳細を1点ごとに熟覧した。閲覧の制限から、後半は次回調査の予定である。

(2) 調査結果

1点ごとに熟覧することで、従前に公刊されてきた史料テキストについて確認を行うとともに、伝来の状況や史料の状態について詳細な情報を得ることができた。資料編に収録するとともに、本編（通史）の叙述においても積極的に活用することを予定している。



建久4年6月9日将軍家政所下文

1. 主な部会活動

(1) 調査

- ・ 合同調査：令和8年3月25日～28日に実施。東洋町役場、県漁協室戸統括支所(旧室戸漁協)、室戸市商工会での資料調査、県外から高知県へ移住された方への聞き取り調査
- ・ 個別調査：県内公的機関への資料調査・聞き取り調査(県立公文書館・オーテピア高知図書館・市町村役場 等)、県内団体等への資料調査(県農協、県漁協等)、個人の方への聞き取り調査(南米移住・駐在保健婦制度・医療関係等)
- ・ 成果：合同調査では、**県内ではじめて漁協および商工会の系統的資料を発掘**(石油危機、200海里問題に関する資料ほか)。また、**県東部における移動・移住の事例として興味深い話を聞くことが出来た。個別調査では個人の方々への聞き取り調査を数多く実施**。南米移住者や、約10年間で脳卒中による死亡者数を半減させた功績により、昭和54年に保健文化賞を受賞した野市町の当時の医療従事者の話を聞くことが出来た。
- ・ 今後の予定：県東部の中でも安芸郡、旧香美郡への調査を実施予定。

(2) 編集状況

- ・ 初刊「資料編1」(令和10年度末刊行予定)について、第13回部会にて配分ページを決定。構成、目次案及び掲載資料については第15回部会(令和8年度12月開催予定)までに確定予定。

2. 資料紹介——「災害」資料に学ぶ(昭和30～50年代)(資料編1に掲載予定)

- ・ 県：高知県の台風記録による「教訓と反省」
高知県『台風9号災害および対策報告書』(昭和39年)、高知県『台風20号の記録』(昭和40年)、高知県『台風10号の記録』(昭和50年)
- ・ 市町村：土佐山田町『昭和47年7月豪雨 繁藤 山くずれ災害記録』
- ・ 民間：『その手を放すな——女が書いた土佐湾台風の記録集』(昭和48年)

(1) 災害資料に学ぶ1 県、市町村、民間で異なる視点・役割 結びつける発想を！

- ・ 県：広域行政＝**広域の災害・防災**にかかわる資料
- ・ 市町村：基礎自治体として**地域に密着**した特性が災害資料にも反映している
- ・ 民間：**多様な立場にある女性の視点「老人・身障者・病人・妊婦」「妻・母・主婦」**

(2) 災害資料に学ぶ2 地域特性を再認識・再発見する

- ①土佐山田町『繁藤』での「反省と教訓」
災害発生地域の特性をよく知る高齢者が＜**邪魔者扱いから信頼を得るまで
- ②黒潮町の逆転の発想と防災計画
1980年代末 バブル経済の時代に**砂浜を逆転の発想でとらえ直す**
→砂浜美術館、Tシャツアートと防災計画の出発点
地域特性には、その地域の歴史や自然環境、くらしなどが含まれる**

1. 主な部会活動

- ・無形・民俗文化財…国指定「土佐の神楽」の一つ「幡多神楽」（四万十町）等8件を調査
- ・天然記念物（植物）…県指定「仏性寺の大椎」（高知市）等4件を調査
- ・天然記念物（動物）…国指定「高知市の『ミカドアゲハ』及びその生息地」等2件を調査
- ・天然記念物（地質鉱物）…国指定「千尋岬の化石漣痕」（土佐清水市）等8件を調査
- ・史跡名勝・有形文化財…考古部会とともに、古代の山寺跡と仏像、棟札等7件を調査
- ・文化的景観…国選定「四万十川流域の文化的景観 中流域の農山村と流通・往来」（四万十町）の調査、四万十川流域文化的景観連絡協議会での写真提供依頼

（2）編集状況

- ・第3回部会（令和7年9月）にて、初刊『高知県史資料編 文化財3』（令和10年度刊行予定）の構成案を決定。

（※無形文化財・民俗文化財・記念物〈史跡、名勝、天然記念物〉・文化的景観）

- ・構成案

「第1部 無形文化財 選定保存技術（第1章 無形文化財 第2章 選定保存技術）」

「第2部 民俗文化財（第1章 有形民俗文化財 第2章 無形民俗文化財）」

「第3部 記念物（第1章 史跡 第2章 名勝 第3章 天然記念物）」

「第4部 文化的景観」

- ・掲載写真の撮影と文献、参考資料、過去の写真等についての調査を継続して実施

2. 調査報告

（1）調査内容

宝永地震後に発生した宝永5年（1708）の土砂災害跡の文化財基礎調査（東洋町）

（2）調査結果

宝永地震後の豪雨により東洋町名留川で発生した大規模崩壊により、失われた山寺跡と有形文化財に残された災害記録、出土した遺物等から災害の実体の一部を知ることができた。

土砂災害跡の集落地下から出土した墓塔



1. 初刊「資料編 近世1」について

(1) 進捗状況

- ・令和6年度より、近世資料編掲載史料の検討・選定を行い、順次原稿を作成（継続中）
- ・令和8年5月、『高知県史 資料編 近世1』（以下、『資料編 近世1』）の原稿を入稿、現在校正作業を進行中
- 校正作業は全3回、12月末に校了→3月末に刊行予定

(2) 資料編 近世1の構成

基本方針：土佐藩の全体像が把握出来る史料の中から、未翻刻のものを優先して掲載

- 第1章 領 知 …土佐藩の領知高の成立とその後の展開に関する史料
(歴代将軍領知判物・目録、幕府へ提出の領知高帳他)
- 第2章 法 令 …土佐藩を代表する重要法令を3点翻刻
(慶長定目、慶長御法度条々、元禄大定目)
- 第3章 国 勢 …土佐藩全体にかかる基礎情報を掲載
(人口統計、直轄地・給知一覧、作事所一覧、陸海番所一覧他)
- 第4章 藩志内篇 …幕末に編さんされた土佐藩の通史(21冊)を翻刻
(初代一豊～8代豊敷〈18世紀中葉〉)

(3) 注目すべき資料の一例

※『高知県史 資料編 近世1』（第1章領知 領知判物・目録）掲載史料

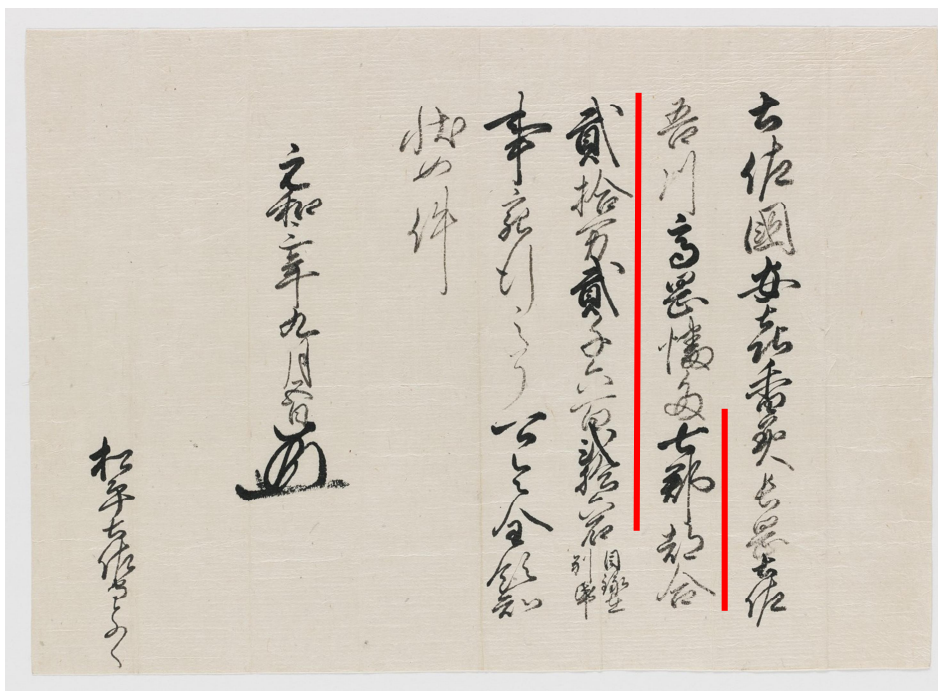


図1 山内家資料 徳川秀忠領知判物（元和3年（1617））

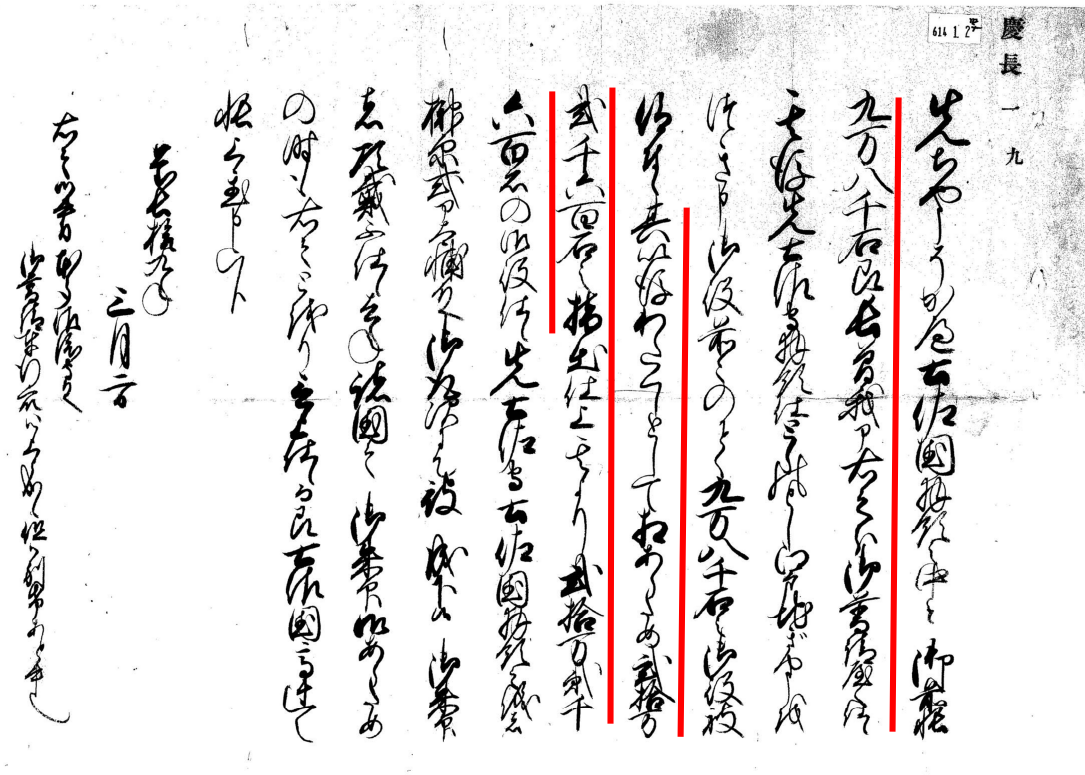


図2 山内家資料 上申書控（土佐国訳高の変遷報告）（慶長 19 年（1614））

（4）「資料編」活用について

- ・HPによる活用方法紹介

県史HPなどで、『資料編 近世1』の目次及び収載史料の数点を掲載し、内容解説と活用方法を紹介する。

- ・県内数箇所での説明会の開催

『資料編 近世1』の収載史料の中から、土佐藩を理解するために必要な代表的史料及び説明会開催地域に関係するものを抽出し、内容や意義を解説し、地域研究や教育現場での活用の仕方を紹介する。